



KAGAWA
ROSAI
HOSPITAL



いぶき 第33号
 発行者 井上 一
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

当院における食道癌治療

外科副部長 小林 正彦



食道がんの症状

食道とは

食道は頸部から胸部、腹部にわたる1本の長い管のような臓器で、背骨の前面やや左側にあって、気管、心臓、大動脈、肺などの重要な臓器に囲まれています。ものを飲み込むと壁が順次動いて胃へと運ぶ役割をしています。

食道がんの発生

食道がんは最も内側の粘膜上皮から発生し、やがて外膜に向かって発育進展して行きます。食事を含めた生活習慣や文化的な要因との大きなかわりが指摘されており、食道がん患者の約75%は喫煙と飲酒の習慣があることから、この二つが重なることと発生率が高くなることが知られています。

統計

わが国で1年間に食道がんにかかる人は胃癌の1/10程度と多くはありませんが、年間の死亡数は胃癌の1.5とかなり高い数字であります。また男性に多く、女性の5倍から6倍と言われています。



病院から見た部分日食 (7/22 AM11:00)

診断

食道がんの診断はまず内視鏡検査で主に行われ、細胞を採取して顕微鏡で調べることににより確定診断がつかめます。がんの存在が確認されると、次にはがんの進行度の検査が始まります。

治療

治療はがんの進行度、患者さんの状態に合わせて行います。主には内視鏡的切除、手術療法、放射線化学療法、化学療法があります。内視鏡的治療切除は早期の病変に行い、食道を温存し病変を切除する治療であります。手術は、がんが発生した臓器と転移している可能性のあるリンパ節を一緒にとりしもう治療です。放射線治療は主に身体の外からX線などの放射線をかけて、がんの撲滅を目指す治療です。化学療法は薬で手術、放射線では届かない部位も含めた全身の病変に対する治療です。食道がんの治療はこれらの治療単独ではなく、組み合わせて行うことが多くこれを集学的治療と言います。

当院の治療の特徴

当院の内視鏡はNarrow Band Imaging(狭帯域光観察)と言われる粘膜表面の血管や粘膜の微細模様等を

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

最後に

食道がんの治療は、頸部、胸部、腹部にわたる場合が多く、体への負担も大きくなるので、まずは早期発見に努めることが大切です。検診で異常を指摘されたり、なにか気になることがあれば検査を受けることが大切です。また、がんが発見された場合は、しっかりと診断、しっかりと治療が一番重要であります。もしも不安な点、ご質問等があればいつでもご相談下さい。

新任医師紹介



腎臓内科部長 小路 哲生

5月1日付けで内科に赴任いたしました小路哲生です。香川医科大学を卒業後、香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科に所属し、研鑽を積んでまいりました。



内科医師 大澤 昌宏

ンや庭の様子、同居の猫や犬についても紹介したいと思えます。昨年来閉鎖してございました透析室は機能を回復し、腎疾患治療について地域の皆様方の期待にお応えできる体制になりました。これから地域の先生方と一緒に頑張っていきたいと思っております。

6月より勤務しております大澤と申します。専門は臨床腫瘍学です。聞きなれない分野ではあるかもしれませんが、主に肺癌をはじめとした悪性腫瘍に対しての化学療法が専門になります。当院に来る前は岡山大学大学院にて研究三昧な日々を過ごしておりました。一日の大半をネズミや細胞と過ごし、論文を読み、「引きこもり」な日々を



内科医師 東 大介

5月よりお世話になっております腎臓内科の東 大介です。

こと病気が癌に関わることで、皆様が私の外来に来なくても済むよう祈っております。これからよろしくお願いいたします。

過ごしてまいりました。ただ発展が非常に速い分野であり、私の研究も近い将来皆様に還元できる日が来ると信じております。そんな「引きこもり」な私ですが、趣味はジョギングです。岡山にいたときから過去3度ハーフマラソンに参加するため丸亀に来ておりました。来月2月もぜひ讃岐路を走りたいと考えております。残念ながら東京マラソンは2回連続で落選中です。性懲りもなく今年も応募しています。

平成14年に香川医科大学卒業ですから医師8年目になります。しばらく当院では腎臓内科が不在でしたので部長の小路先生、岩田先生とともに新しい透析室をつくっていただけるのは重圧もありますが喜びでもあります。当院は丸亀だけでなく西讃地区の数少ない中核病院のひとつです。からクオリティーの高い医療を提供する義務があります。まだまだ若輩ですが少しでも患者様のお役にたてられたらと思っております。

プライベートでは2年前に結婚し昨年長女が生まれました。何もできない赤ちゃんですが、存在してくれていることがどれ程私たち家族の喜びと日々の生きがいになっていくかわかりません。

私の専門分野の腎臓病は慢性疾患が多く薬物療法ももちろんですが日々の食生活、運動療法が最も重要です。長女の誕生を機により一層、患者さん個人だけでなく患者さんの家族を巻き込んだ医療の重要性を再認識し



泌尿器科医師 久住 倫宏

この度、7月より尾道市民病院より当院泌尿器科に転勤となりました久住倫宏です。尾道市民で労災勤務経験者が数名おられ、尾道より大変忙しいと何っており、まず体に気をつけるように心がけようと考えております。

ています。至らぬ点も多いですが宜しく願っています。



臨床研修医 富田 悠介

システム等いろいろ慣れないことが多く、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、今後ともよろしく願っています。

お知らせ

●公開健康講座

日時 9月16日(水) 14時00分～15時30分
場所 香川労災病院管理棟会議室
内容 飛蚊症について
「黒いものが飛んでいませんか？」

講師 眼科部長 小見山 知之
参加 無料

患者さまの権利と責務

1 患者さまの権利

患者さまは、人格を尊重され良質な医療を公平に受けることができます。

2 「説明と納得」のもとに、医療を選択する権利
患者さまは、病状や医療内容について十分な説明を受け、検査・治療方法などを、ご自分の意思で選択または拒否することができます。

3 他の医療の意見を参考にする権利

2 患者さまの責務 (セカンドオピニオン)

患者さまは、医療機関を事由に選択し、また他の医師の意見を参考にする権限があります。

4 診療に関する情報開示を受ける権利
患者さまは、ご自分の医療上の記録や情報について、開示を求めることができます。

5 個人情報保護される権利
患者さまの医療上における個人情報、法的あるいは治療上などの正当な要請のある場合を除き保護されます。

1 患者さまの責務 (お願い)

1 病状などに関する情報提供の責務
当院職員に対して、ご自分の症状や健康に関する正確な情報の提供にご協力ください。

2 病院秩序を守る責務
他の患者さまが良質な医療を受けられるように配慮するともに、当院職員が適切な医療を行えるようにご協力ください。

3 診療費支払のお願い
病院は診療報酬によって運営されています。支払にご協力ください。

はじめまして、平成21年4月より当院で初期臨床研修を行っている富田悠介と申します。出身大学は関東の日本大学ですが、育ちは香川県は小豆島で、こうして出身県に骨を埋めるために帰ってきた次第です。将来的には地元である小豆島に帰ることを考えているのですが、いざというときにはやはり労災病院のような地域の基幹病

院のお世話になることになると思います。

そのような場所で研修させていただけることは、医師としてのスキルの向上と、自分で診なくてはいけない患者さんと、他院で紹介しなければいけない患者さんを見分ける能力が重要であろう私のような過疎地の小規模病院で働くこうとしている人間にとっては、非常にありがたいことでもあります。

ひとより回り道をして医師になつた分、他の研修医の方よりも年を食ってはいませんが、気持ちの若さ、医療に対する熱意では負けないよう頑張っていますので、皆様今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



臨床研修医 兼田 大輔

4月1日より初期臨床研修医として勤務しております兼田大輔と申します。

出身は兵庫県の加古川市という所です。明石と姫路の間に位置し、人口27万人のそこそこの町です。でもこれといった名物も観光名所もありません。

高校まではその何もない市内で過ごし、大学時代は岡山で過ごした。橋を渡りこの香川にやってきました。実家からはほとんど離れていきます。

はるばるうどんの国香川に来たので、休みの日はよく愛車のヴィッツでうろうろとうどん屋巡りをしています。岡山にいた頃も、香川までうどんを食べに来ていましたが、やはり本場のうどんは違います。これからはおいしいうどん屋を開拓していこうと思うので、お勧めの店があれば、是非教えて下さい。

医者として働き出したばかりで、まだまだ至らぬ点はたくさんあるとは思いますが、日々努力します。これからも宜しくお願い致します。



臨床研修医 岡村 瑞穂

平成21年4月1日より初期臨床研修医として勤務しております岡村瑞穂と申します。内科での研修が始まり5ヶ月が経とうとしていますが、未だに右往左往しながら過ごしています。医療者の方から学ばせて頂くことが多々あるのは勿論のこと、患者様から教えて頂くことも数

え切れない程で、その度、早くに医師として成長してゆきたいと気持ちを新たに引き締めています。

出身は鳥取県鳥取市で、岡山大学卒業後この度香川労災病院へと参った次第です。この土地の天気の良いに当初は驚くばかりでした。学生時代は小旅行が趣味で、丸亀にも5回うどん巡りに来ています。それでも土地感はありませんが、これから徐々この土地に慣れていこうと思っております。

まだまだ未熟者ですので、ご不便をおかけすることも多々あるかと存じますが、日々新たな経験を積んで、精進してゆく所存です。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



臨床研修医 比嘉 深雪

はじめまして。研修医の比嘉深雪と申します。出身は沖縄です。この春岡山大学を卒業しま



● 労災病院周辺で見られる鳥 ●
コチドリ
主任薬剤師・吉村正則

スズメよりやや大きく、日本で見られるチドリ類では最小。北半球に広く分布し、河原荒地で普通に繁殖している。右に左にチョロチョロ歩いている様子が、酔っ払った時の歩き方になったと言われている。

して、内科から研修をさせて頂いております。

どうしてこの病院を選んだのによく聞かれますが、丸亀城に遊びに行ったときにそこから見えたというのがきっかけです。やや思いつきで進路を決めてしまふところがあり、鹿児島、東京、高松、岡山、と転々としてきました。

そろそろこの辺で落ち着こうかなと思うこの頃です。丸亀はあまり分らないので、休みの日は基本的に家にいます。

嚥下障害について リハビリテーション科 高畑 知代

私たちは普段、あまり疑問を持たずに食べたり飲んだりしています。

しかし、病気や老化などの影響で飲みこみにくくなることがあります。これを嚥下障害とい

います。また、水や食物が肺の方へ入ってしまうことを誤嚥といい、嚥下障害の怖い症状です。

原因として最も多いのは脳卒中の後で口や舌、のどなどがうまく動かないために飲みこみにくくなるもので、当院でも訓練や指導を行っています。しかし、特別な病気がなくても老化によつて飲みこみに関係する器官の働きが低下して嚥下障害が起こることがあります。

食事の際にむせる、食事中や後に痰がからんだようなガラガラ声になる、発熱を繰り返す等がある場合は嚥下障害が疑われる。

食べることが生きていく上で重要であり、楽しみのひとつです。美味しく、安全に食べられるように、少しの注意や工夫が必要です。

お茶を淹れておやつを食べるのんびり過ごすのが至福の時です。最近「琉球の香り」という健康野草茶にはまっています。沖縄に行かれた際にはぜひお試しください。

まだまだ分からないことだらけですが、スタッフの方々に助けられ、患者さんの笑顔に支えられて頂いています。笑顔を忘れないうように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

外来診療予定表

診療科	時間・診察室	月	火	水	木	金	
内科	午前	一診	多田	永田	多田	荒木	滝本
		二診	荒木	大澤	北村	北村	永田
		三診	小原	黒河内	石原	小原	黒河内
		四診	小路	平池	滝本	小路	東
		五診	西	岩田	東	岩田	大澤
		六診	河野	平生	三村	後藤	石原
循環器科	午前	一診	松浦(予約)	渡邊(初診)	宮本(予約)	水尾(初診)	水尾(初診/予約)
		二診	宮本(初診)	水尾(予約)	松浦(初診)	渡邊(予約)	
	午後		ペースメーカー(第2,第4)				
外科	午前	一診	村岡	津村	立本	村岡	津村
		二診	小林	立本	國土	渡辺	木村
		三診					母里
	午後		呼吸器 津村	肝・胆・膵 國土	※乳腺 村岡・小林・渡辺		
整形外科	午前	一診	横山	高田(真)	廣瀬	前原	布施
		二診	生熊	森谷	布施	森谷	横山
		三診	前原	高田(敏)	生熊	前田	高田(真)
	午後		リウマチ外来		リウマチ外来		
リハビリテーション科	午前	高田(敏)	田村	高田(敏)	生熊	高田(敏)	
形成外科	午前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中	
脳神経外科	午前	一診	藤本	吉野	合田	藤本	吉野
		二診	柚木	合田		平下	
		三診		平松			
泌尿器科	午前	一診	西	西		西	西
		二診	水野	水野	水野	水野	水野
産婦人科	午前	一診	川田	大倉	川田	木下	大倉
		癌検診	木下	木下	大倉	大倉	木下
	午後	産科予約検診	大倉		木下		川田
		産後検診			交代制		
眼科	午前	一診	小見山	小見山	小見山	小見山	小見山
		二診		國土	國土	國土	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	午前	一診	平田	森下	森下	苅田	森下
		二診	苅田	平田	苅田		平田
	午後			腫瘍外来			
放射線科(放射線治療)	午前(予約)	三谷		三谷			
	午後(予約)	三谷		三谷		三谷	
歯科口腔外科	午前	一診	池田	池田	池田	池田	池田
		二診					松村
麻酔科(ペインクリニック)		一診	北浦	鈴木	北浦	戸田	北浦
ストマ外来	午前		看護師(午前中)		看護師(午前中)		

※メンタルヘルス科は平成21年3月から休診しています。

健康診断センター

日帰りドック	1日20名	火、水、金曜日	海外派遣労働者の健康診断	随時
一般健診	1日20名	月、木曜日	特殊健康診断	随時
脳ドック	1日1名	月、火、木曜日	振動障害健康診断	1名 月曜日
雇入時の健康診断	1日20名	月2回	健診車による出張健診	月～金曜日
定期健康診断			特定健診	随時

※全ての健診は予約が必要です。 ※健診の曜日は変更になることがあります。

- 当院は、協会けんぽ生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。
- 健診の結果、二次検査が必要となった場合、乳腺外来のみ当院で予約を行っております。

香川労災病院時代の思い出—そのⅢ *allegro non troppo*

香川労災病院名誉院長 原田 英雄

就任にまつわる思い出を1編に、そして新時代に即した理念・目標に向かって共に行動するチームの形成に到る思い出を2編にえがいた。

当時、私の脳裏には司馬遼太郎著の「坂の上の雲」の情景があった。「坂の上の雲」を目指して、共に走り続けた方々との思い出は尽きない。一方では、はやる気持ちを抑えつつ、

allegro non troppo (快速に、しかし速すぎないように)と自制する自身の姿が思い浮かぶ。私には夢多き一時期であった。

改善・改革作業のなかで最も懐かしい思い出の一つはCQ I (continuous quality improvement) 活動である。これは医療安全、感染管理、医療倫理、医療連携、パスなど質の改善活動をリードするスタッフからの提案を受け、幹部会議と運営会議の支持を経て開始した会議である。上記領域の諸問題を全職種参加の下で総合的に討議し、成果を周知し活用する場として貴重な存在となった。毎月定期的開催し、

1回に4〜6テーマが組上りのぼった。やがて他の施設からの参加者も加わるようになり、交流の輪が広がった。CQ I活動を通して患者・家族を中心とする多職種によるチーム医療の体制が徐々に成熟していった。

質の改善に関する活動は以前から看護部がTQM小集団活動を中心に定期的に行っていた。就任後幾度か集会に参加してその効用は認識していたので、CQ I活動を開始したいとの申し出は私にとってほまさに渡りに船であった。

安全委員会は医師・看護師を中心とするチームにより従来から活発な活動を展開していたがCQ Iを通じて薬剤部・放射線部・臨床検査部・リハ部・MEグループ、事務部などの活躍が急速にクローズアップされるようになった。

感染管理委員会の活動はICDに感染管理認定ナースの誕生が加わり、さらにITC活動やCQ I活動を通して一層充実した。認定ナースの実力はすごいと皆が認めた。これがきっかけとなって他の領域の認定ナースを目指す挑戦者が次々と現れた。少なくとも5年を要する難コースであるが、現在までに認定ナースが5人を超えたと聞いている。看護部の底力を示すもので心から賛辞を贈りたい。

師会との関係は良好で連携協定が結ばれ、開放型病床15床の利用状況も活発であった。就任後、連携担当者とは相談して地元丸亀市医師会と周辺地域医師会の先生方を私が訪問して関係強化に努めた。その結果、丸亀市医師会・歯科医師会の他に、仲多度郡・善通寺市医師会、坂出市医師会、綾歌地区医師会の先生方と連携協定を締結し、患者さんにシームレスなケアを提供する基盤が強化された。並行して連携室(責任者・副院長)のメンバーも事務局長の才覚でMSWを含む5名と充実した。患者さん用の連係情報を掲載した月刊誌「すみれ通信」の刊行が平成15年より開始された。順次、連携先の先生方を訪問した当時の情景が懐かしい思い出として残っている。先生方の要望を現場に伝える工夫もまた、懐かしい思い出である。

クリティカルパス活動も以前から活発であったが、CQ I活動を契機にさらに充実し私の任中に既に二〇〇を超えていたと記憶している。患者納得の医療、安全で効率的な医療にはICとパスは欠かせない。担当者が当時すでに地域連携パスの作成にいそしんでいた姿が思い浮かぶが、現在はそれを縦横に活用していると聞いている。

CQ I活動にまつわる思い出は尽きないが、この続きは次の完結編にゆずりたい。

試してみませんか? 作りおき調味料

栄養管理室長 平田 邦江

行楽の季節、食欲の秋の始まりなのに、夏バテなのか、何故か「食欲が無い」、料理を作るのが面倒だ。ってことはないですか? そんな時、簡単でしかも便利な調味料を手作りしてみませんか? 調理方法は、茹でる、蒸す、炒める、揚げる、煮る、生で食べるなどさまざまですが、これらの調味料として食材にかけたり、和えたり、漬け込んだり、煮込んだりとアイデア次第で同じ料理でもいく通りも楽しめます。

工夫次第で独特の味が楽しめる、また栄養素の補充にもつながります。いかがですか? 便利調味料を使ってどんな料理を作ろうかとわくわくしてきませんか? カレーライスは、肉、玉葱、じゃが芋、人参がなくては作れないと思いませんか? 茄子カレー、シーフードカレーなどカレーは何で作っても美味しいでしょう。既成概念に捉われず臨機応変に料理を楽しんでみませんか?

食欲の秋、スポーツの秋、早く疲労回復して、すがすがしい風を肌で感じ、青空の下楽しく、元気に過ごしたいですね。そして収穫の秋、食べることは生きること、食べて私たちの身体も充実させたいものです。『栄養相談』をご希望される方は主治医にご相談下さい。

作りおき調味料 ●材料/作りやすい量

- めんつゆ
 - しょうゆ.....1カップ
 - みりん.....1カップ
 - 水.....5カップ
 - *1 混合削り節(厚切り).....1/2カップ(30g)
 - *2 ごんぶ.....20g
 - 大きじ1(7kcal)塩分0.5g
 - *1 手に入らないときは、削りガツオ山1カップでもよい。
 - 水を5カップ弱にして煮出し時間を20〜30分に。
 - *2 煮出したごんぶは細切りにしてお茶漬けやおむすびの具に。
 - ・煮干しを加えるとどんつゆに合うめんつゆになる。
 - なべにすべての材料を入れて火にかけ、煮立ったらわずかにふつぷつする火加減に火を弱め、約40分煮て濾す。さっぱり味が好きならみりんを少し減らす。
- 土佐酢
 - うす口しょうゆ.....1/2カップ
 - 酢.....1/2カップ
 - みりん.....1/2カップ
 - 水.....1/2カップ
 - 削りガツオ.....1カップ
 - 大きじ1(7kcal)塩分0.5g
 - *1 なべにすべての材料を入れて中火にかけ、煮立ってパワーとぶきあがったら火を消して濾す。
 - *2 さためた保存びんに入れる。
- 練り白みそ
 - 白みそ(または好みのみそ).....1カップ
 - *1 みりん.....1/2カップ
 - *2 水またはだし.....適量
 - 大きじ1(29kcal)塩分0.6g
 - *1 みその種類によってみりんの量を増減したり、砂糖を加えたりして自分の好みの味に調整するとい。
 - *2 水やだしでみそをゆるめ、にときのばし、じっくりと加熱しながら練ると、うま味が増すとともに保存期間が延びて風味も落ちにくい。
- 練り赤みそ
 - 赤みそ.....1カップ
 - みりん.....1カップ
 - 水またはだし.....適量
 - 大きじ1(26kcal)塩分1.4g
 - *1 なべに白みそ又は赤みそを入れ、みりんを注ぎ入れながらとろろにする。
 - *2 水またはだしを加えてなめらかにし、弱火にかけて木しゃもじで焦がさないように練る。
 - *3 ぼてりとなるまで練ったら火を消し、さまして密閉容器に入れる。
- 二杯酢
 - しょうゆ.....1/2カップ
 - 酢.....1/2カップ
 - 大きじ1(9kcal)塩分1.4g
 - 分量のしょうゆと酢を保存びんに入れる。

薬の「副作用」とは 薬剤師 佐藤 竜馬

「副」の反対は「主」です。薬は、この主作用と副作用の両方を兼ね備えています。副作用のない薬はないと言っても過言ではありません。

薬は様々な研究や臨床試験を経て、この主作用が認可されて市販されます。

副作用と言っても様々な種類のものがあります。

①アレルギー：実はこれが一番注意が必要です。本来、人の体は、異物から自分の体を守ろうとする免疫が働くのですが、これが過剰に発現するのがアレルギーです。薬を飲んだら発疹が出たというのはアレルギーによるものです。抗生物質や鎮痛剤等は発現しやすいと言われて、いますので注意が必要です。また、非常に稀ですが、薬の種類によつてアナフィラキシーショックと言う重篤なアレルギーを発症する場合もあります。

②薬が効きすぎて起こる副作用：高血圧の薬を飲んで、めまいや立ち眩みが出た。また、血栓予防の薬を飲んで、皮下出血したというのがこれに当たります。逆に言うとも薬が効いている証拠です。医師に相談し、量を調節することで上手く使える場合もあります。

③その他の副作用：「なぜ薬を飲むと眠くなるんです」と言う人はいませんか？これも副作用でなぜ薬の中の成分で眠気を

を催す作用のあるものがあります。この場合、主作用が「鼻水を止める」で、副作用が「眠気」です。しかし、最近はこの眠気を主作用として発売されている睡眠導入剤(市販薬)もあります。もう一つ例を挙げると、解熱鎮痛剤で「アスピリン」という薬があります。かなり昔から使われていた薬ですが、最近はその副作用であった「血をサラサラにする作用」が循環器科等の領域で、血栓を予防するために使われています。もうお解りいただけただけでしょうか。同じ成分の薬でも、目的によつて主作用、副作用が変わります。

薬は体の中に入つてから、様々な作用を示し、最終的に体の外に出ていきます。その中で都合のよい作用を「主作用」、不都合な作用を「副作用」と呼んでいます。なので、どんな薬にも少なからず副作用があります。ただし、医師が処方した適切な量を、正しく服用すれば、副作用は誰にでも起こることはありません。今後は遺伝子レベルでの研究が進み、個人の遺伝子と薬の代謝の関係が解明され、副作用の発生する確率なども分かる時代になるかもしれません。

薬の副作用や飲み合わせなど、薬に関する疑問は、お気軽に薬剤師にお声をお掛けください。

西4病棟紹介 大西奈都子

西4病棟は、整形外科と形成外科の病棟です。交通外傷やスポーツ損傷、労災事故など突然

に入院される患者様が多い病棟です。また形成外科では熱傷や褥瘡のある患者様が入院されます。

私達看護師は、痛みや運動機能の障害を抱え生活様式の変更を余儀なくされる患者様が、安全・安楽に入院生活を送つていただけるよう、回復に向けての看護を行っています。食事・排泄・清潔・移動など、今まであたりまえのように出来ていた



かかりつけ医をお持ちですか？

医事課 地域医療連携室

丸亀市歯科医師会と連携を結び、地域連携室を通じて患者様を速やかに受け入れるようにしています。

具体的には、かかりつけ医の先生から紹介状を前もつて当院の地域連携室にFAXしていただくことで、当院に受診歴の無い方でもあらかじめ患者登録をしておいたり、予約の手配をしておいたりすることが可能になります。待ち時間の短縮にもなりますし、紹介元の先生の詳しい情報が紹介状に記載されているので初めての先生でもスムーズに治療を始められます。また、紹介状に検査の結果や画像が同封されていることにより、同じような検査を繰り返す必要がなくなることもあります。入院して治療をすることになったり、開放型病床を準備しております

季節の変わり目をむかえ、いつもと違う体調の変化を感じることもあろうかと思えます。高い熱が続いたり、痛みが強かったりすると不安な気持ちになりますね。こういう時に頼りにするのがかかりつけ医の先生方です。長期にわたつて診て頂いている事で、患者様の状態についてさまざまな情報を把握して下さつていきます。体のケアや病気の治療はもちろん、心のケアや家族へのアドバイスなど多方面にわたつてサポートしてくださる心強い存在です。また、診察の結果さらなる検査や専門の治療が必要と診断されれば、症状に合わせて病院を紹介して下さい。

当院も、丸亀市医師会や仲度郡・善通寺市医師会、坂出市医師会、綾歌地区医師会および

ことが急に出来なくなり、戸惑うことも多いと思います。リハビリテーション科やソーシャルワーカーなど医療チームと協働しながら、早期離床できるように支援しています。患者様がその人らしい生活を送れるようになること、それが私達看護師の心からの願いです。忙しい業務に追われていますが、毎日、患者様の笑顔に元気をいただきながら頑張っています。

のでかかりつけ医、当院主治医と共同で診療を受けることができます。外来での診察の結果、もしくは退院後、患者様の同意のもとに紹介していただいた先生に情報をお伝えし、これまでと同様にかかりつけ医の先生に安心して診ていただけるように配慮しています。

これからも当院では、かかりつけ医の先生方との連携を重視し、患者様が安心して通院できるように心がけてまいります。なお、かかりつけ医の先生がいらない、どの先生のところに行きたいかわからない場合はお気軽に地域医療連携室までご相談ください。

編集だより 患者サービス向上委員会 新田 聖子

今年も早明浦ダムの貯水率に一喜一憂していた私たちですが、いつの間にか一〇〇%に回復。ほつとした反面、各地では痛ましい災害が頻発し私たちの生活に脅威を与えています。

人間も自然の中で生かされている事を思いだし、地球の警告に耳を傾けなければいけないと感じた今年の夏でした。

「いぶき」33号をお届けします。紙面に皆様のご意見を反映したいと思っております。ご意見、ご要望お待ちしております。